

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」



第4期 管理職養成学校ニュース

2024年12月18日発行 (No.4) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

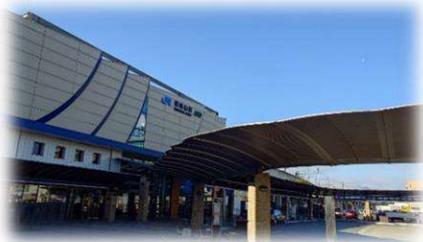
🌲🌲🌲🌲🌲🌲 2024年11/21 (木) ~22 (金) 🌲🌲🌲🌲🌲🌲

第3講座が1泊研修として与謝野町で開催されました！

8月にスタートした養成学校ですが、第3講座は1泊研修ということで全国から受講生24名が京都府与謝野町に全員集合しました。開校以来、オンラインでの自主ゼミ・講座参加での交流は活発に行われていましたが、受講生同士が実際に会うのは今回初めてで、喜びの対面でした。2日間好天に恵まれ、秋晴れのもと開催することができたことも何よりです。

～第3講座の獲得目標～

- ① 福祉施設の管理業務である「福祉実践」「教育」「労務」「経営」「運動」について、他法人から学ぶ機会とする。
- ② 社会福祉とは異なる業界の経営・管理業務を学び、管理者としての見識を高める。
- ③ 受講生同士の連帯感、仲間づくりを促進する場とする。



1日目 ～シオノ鋳工株式会社～

管理職養成学校1泊研修の目玉となる「異業種の経営者から学ぶ」講座は、4年連続で(株)シオノ鋳工社長の塩野浩士氏です。受講生は事前にシオノ鋳工のホームページを見てからの現地入り。ホームページからもユニークな塩野社長の姿や、スタッフが企業紹介するYouTubeなど、福祉業界から見るととても斬新な会社の様子が伝わります。まずは本社の工場見学。危ないので外から見るだけですが、普段目にするのことがない鋳物の作業工程を見たり、休憩所にも休日取得日数や自己紹介シートなどが貼ってあ



ったり等、なかなか私たち福祉の職場では目にするのが少ない掲示物もたくさん見られました。

その後、新工場(ラボ棟)へ移動し、塩野社長の講義。鋳物の話から始まり、リーマンショックで経営が行き詰ったときに「経営理念」を社員と考えたり、鋳物工場という熱い現場で体調を崩す社員が増えたことをきっかけに給食を提供する等、社員を大事にする思いが満ち溢れ、仕事以外の関係づくりとして「ヒロシの部屋」と名付けられた飲み会や、釣り大会やソフトバレー大会など、楽しそうな取り組みも盛りだくさん。中でも三輪車レースについては取り組みを熱く語られていました。又、塩野社長は「丹後地域を活性化させた

い」という思いも強く持っておられ、何を聞いても「目から鱗」であり、斬新な発想やアイデアでありながら、福祉現場で全部は真似できないけれども参考にな



るお話をたくさん聞かせていただきました。塩野社長のような「社員思いの魅力的な管理職」に私たちもなりたい、そう思える講義でした。講義後に2グループに分かれて昼食と新工場見学。特に昼食では併設された「ZIP CAFÉ」で20品目以上を使って調理されている、日替わりランチ。メニューはシオノ铸工の社員さんも同じものを食べているそうです。



～リフレかやの里～



現在「リフレかやの里」は閉館中の為、今回も加工場のみの見学となりました。主任や支援員、そして実際にそこで働いている仲間（利用者）の方に説明や思いを聞きながら見学をさせていただきましたが、障害のある人が当たり前働き・暮らしていくことを保障するために、私たちの仕事、社会福祉の役割があると改めて考えさせられる時間となりました。



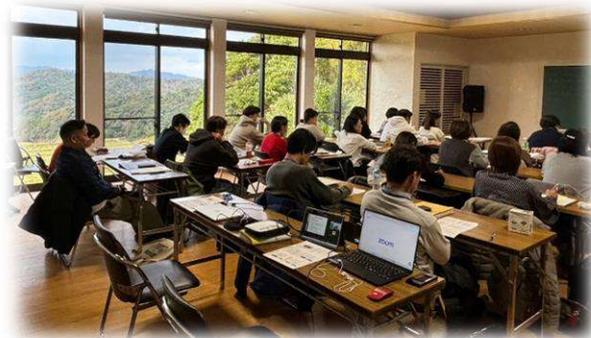
～かや山の家～



「かや山の家」へ移動し、最初は「ワークセンター花音」管理者の藤原さゆり氏の「働く中でたくましく ～原点に立ち返り大切にしたいこと～」というテーマの講義です。

藤原氏は学校卒業後に無認可作業所に入職しはじめての給料日。仲間より給料が多かったことに疑問を感じたこと、それが「みんなに少しでも多くの給料を払えるようにすること」が自分の仕事である、と志し「仕事づくり」に邁進されました。入職した頃の想いを常に忘れずに実践し続け、仲間一人ひとりに寄り添い、夢や願いの実現の為にチャレンジしている姿勢に感銘を受けました。

続けて、恒例のプレゼンテーションです。今回の課題は第2講座の茨木先生の「社会福祉法人のあり方」について学び、社会福祉法人の現状と課題を踏まえつつ、法人の理念に照らして、自施設の存在意義・価値を振り返り、自分の職場の運営課題を明確にし、リーダーとして運営課題の解決に向けての道筋を考えた、「組織運営について」がテーマです。法人内の管理者の集まりの場を想定して3分間で語る設定です。何よりも初めての対面でのプレゼン！受講生の皆さんの緊張感もより伝わってきましたが、小道具を駆使して自施設が抱えている運営課題をわかりやすく、切実に語る姿が印象的でした。第4講座、第5講座でのプレゼンも非常に楽しみです。



～夜の部～



プレゼン発表で緊張感も解け、1日目の振り返りのグループワークを終えた後は、ゼミメンバーと美味しいジビエカレーを頂きながら、夕食交流会。卒業発表に向けての打ち合わせや受講生同士で情報交換、悩み



を言い合ったりと貴重な時間を過ごせたのではないのでしょうか。宿泊先に分かれた後も夜遅くまで交流は続いていたようです。受講生同士の連帯がより深まり合う与謝野町での夜のひと時となりました。



2日目 ～待望の雲海は・・・～

さわやかな目覚め、誘われるように外に出ました。眼下に広がる雲海・・・は、残念ながら条件が整わずに見ることができませんでした。またの機会にお預けです。

～組織運営を学ぶ～

2日目のスタート。24名の受講生は前日（大宴会？）の疲れも見せず、会場のやすらの里に集合しました。『地域共生型福祉施設 やすらの里』は4つの法人が同一敷地建物内で協働して運営している施設で、4法人を代表して（社福）与謝郡福社会 やすら苑の石本晃一施設長のあいさつから始まりました。

いよいよ、第3講座のテーマである「組織運営を学ぶ」について、よさのうみ福社会 青木一博理事長の講義です。「よさのうみ福社会の福祉実践と法人組織運営」と題して、①リフレかやの里の再生・農福連携に取り組む、②異業種4法人と町が連携し共生型福祉施設を整備運営、の2つの実践例を柱にお話いただきました。紙面の関係で具体的な内容は割愛しますが、いずれの実践例もそこには地域のニーズがあり、ニーズを実践する法人理念があることは確かです。「よさのうみ福社会だから、できたんだ！」で終わらせることなく、その実践を自法人自施設に引き寄せ振り返ることが大切です。受講生にとって深く学び、考え・実践につなぐことを再確認できた時間となりました。



第4講座 12月19日（木）
・「財務分析と事業計画」
講師：山本匡人氏（中央会計税理士法人）
・プレゼンテーマ
自事業所の財務分析を踏まえた上で、財務計画を発表します。

第4講座講師の山本先生と麦の芽福社会の川瀬さんです。

